

教科(科目)	芸術 (書道 I)	単位数	2 単位	学年	1 学年 (選択必修)
使用教科書	教育出版 「新編 書道 I」				
副教材等	なし				

1 学習目標

小・中学校国語科書写の学習を基礎としながら書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てる。生活や社会の中の文字や書に対する関心を高め、書の伝統と文化を学び、それに関わる資質・技能・感性を深める。

2 指導の重点

基本的な用筆・運筆による点画や線質の表し方を習得し、書の良さや美しさを感じ、意図に基づく作品作りを目指す。書の伝統に親しみ、臨書から初歩的な創作へとつなげることを目指す。

3 学習計画

月	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	書写から書道へ	教科書 基本点画	中学校までの書写と高校芸術科書道との共通性と相違とを理解し書の世界を知る。漢字の成立と変遷を学習し基本点画を学ぶ。	2	学習活動への参加 状況や態度
4	漢字の書	「牛欄造像記」「鄭羲下	様々な特徴を持つ作品を鑑賞・臨書することにより、美しさの多様性や用筆法・運筆法を学ぶ。	12	学習活動への参加 状況や態度 作品提出 学習の記録
5	楷書	碑」「九成宮禮泉銘」			
6	行書	「孔子廟堂碑」「建中告身帖」「雁塔聖教序」			
7		「蘭亭序」「風信帖」		8	
8	創作	県競書大会課題	臨書で得た用筆法などを作品制作に活かす。	4	作品提出
9	篆書・篆刻 刻字	「泰山刻石」	篆書の成立と特徴を理解し、印を作る。	10	学習活動への参加
10			刻字作品を制作し相互鑑賞し、完成の喜びを味わう。	12	状況や態度 作品提出
11	仮名の書	「蓬萊切」	仮名の成立と変遷を理解し単体・連綿、平仮名・変体仮名、臨書へと学びを進める。	2	学習の記録
12					
1	創作	干支 故事成語	見附市書き初め展へ出品する。	4	学習活動への参加
2	漢字仮名交じりの書	教科書	漢字と仮名の調和した表現について理解し自らの思考や感動を表現できる語句を選び、自由に表現する喜びを味わう。	12	状況や態度 作品提出
3	硬筆	教科書	手紙などの実用書の書式を学ぶ。	4	学習の記録

計70時間 (50分授業)

4 課題・提出物等

- ・清書作品提出を基に毎時間の学習記録を記入する。
- ・文化祭に作品を展示し、相互批評「鑑賞カード」や制作の意図や経過を記した「自己評価表」を提出する。

5 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。

書への関心・意欲・態度	書表現の構想と工夫	創造的な書表現の技能	鑑賞の能力
古典に基づく学習と様々な書表現の技法に関心を持ち表現技法を高めようとしている。	基本的な姿勢・執筆法を身につけ用具用材によって線質や表現が変わることを理解し表現を工夫している。	基本的な点画や線質の表し方と用筆運筆の関係を理解し用具用材の特性を生かした効果的な表現技能を身につけている。	臨書を通して得た古典に基づく伝統的な技法や現代的な書表現を幅広く鑑賞し味わうことができる。

以上の観点を踏まえ、

作品の提出、学習活動への参加状況、学習の記録、用具の取り扱い などから総合的に評価します。

6 担当者からの一言

作品制作が中心ですが作品についてどう思うかなど感想も聞きます。小中学校の書写の授業で学んだことのない用筆法(筆づかい)や新しい表現方法を習得し個性的な創作作品を制作します。